

# 令和2年度 年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	人間と社会	単位数	1	対象学年・組	1学年A～F組
教科書 使用教材	東京都教育委員会著作 「人間と社会」	教科担任	小林、井原、萩原、野崎、吉田、山本、藍澤、大場、大和田、小林、島田、三木		

## 1. 目標

- ① 社会の一員であることを実感し、社会に役立つ意義と喜びを体験的に学ぶことを通して、道徳性を養い、価値観を高めることで、社会的現実にはらし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を培う。
- ② 規範意識や公共心の充実を図ると共に、思いやりの心を持ち、他者との意見交換を通して、自ら行動できる力を培う。
- ③ 自らの可能性や自己理解の深化を図り、自己肯定感や向上心を育む。

## 2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	・オリエンテーション ・他者の理解、体験活動について学ぶ ・体験活動先についての学習、準備 ・学ぶことの意義 ・役割と責任を考える	思いやりの心をはぐくみ、他者との意見交換を通して、様々な立場の人とともに生きる生き方を学ぶ。  高校生として社会の一員であることを実感し、社会に役立つことの意義を学ぶ。	授業のねらいを明確に示し、学習の意義を考えさせる。  生徒同士の対話や協議を通じて解決への道筋を見出させる。	14
2 学期	・体験活動 ・体験活動の振り返りとまとめ ・マナーと社会のルールについて考える。 ・働くことの意義	社会に役立つ喜びと意義を体験的に学ぶことを通して、道徳性を養い、価値観を高める。  よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育成する。	各自が選択した体験活動に主体的に取り組ませる。  社会のマナーを学びつつ、実践内容を異義ある形にまとめる。	15
3 学期	・学習のまとめ ・今後の社会参加活動に向けての案内	授業で学んだことや、体験したことを活かし、今後につなげる意義と方法を知る。 「人間と社会」の学習活動を通して、自分の可能性を知り、自ら考え行動する力を高める。	授業で学んだことや、体験したことを活かし、今後につなげる意義と方法を考えさせる。	6

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

## 3. 授業を受ける上での注意

- ① 自ら考え、積極的に行動すること。
- ② 体験活動の際に、ルールとマナーを守り、安全に活動すること。
- ③ 他者の立場を考え、思いやりの心をもって、行動すること。

## 4. 評価の観点・方法

活動に主体的、積極的に参加し、授業記録・報告書等の記入をきちんとしているか等の授業への取り組み状況を総合的に判断し、評価を行う。